記者発表連絡票

北斗市	部	経済部	課	観光課

投げ込み日	令和	2	年	4	月	6	日		
情報解禁日	令和		年		月		日	☐ 指定無	

北斗市を空から見てみよう！

北斗市全景イラストマップ

当市の地形、観光施設、特産品等を手書きの可愛らしいイラストで描いており、鳥の目線で全体を一望できるマップです。（鳥瞰図）

裏面では、特に見てもらいたい、知ってもらいたい施設や文化、歴史などをずーしーほっきーとともに紹介しています。裏面に描かれているイラストを表面のマップの中から探してみませんか？

市内にお住まいの方も、自分の住んでいるまちについて、より深く知ることができるかも！

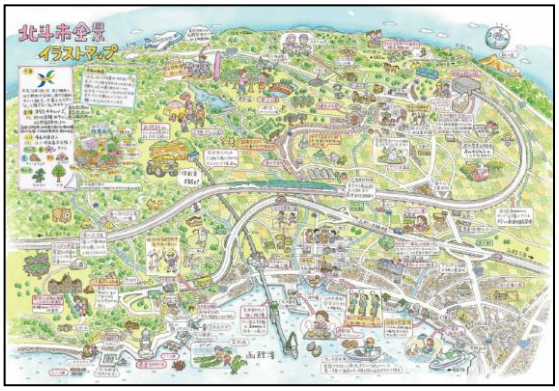
本事業は、今回で 1 回目の開催です。

◆規格・部数
（1）規　格　　A3版　地図折
（2）部　数　　10，000部

◆体裁
（1）表面…地形・観光施設等を手書きで描いたイラストマップ
（2）裏面…特に見てもらいたい、知ってもらいたい歴史や文化、観光地等の紹介

◆掲載した施設・資源等（合計　約120件）
・観光地：12件
・神社仏閣：2件
・歴史：10件
・公園・キャンプ場：9件
・その他：約90件
※上記のうち裏面掲載：16件

◆その他
・そのほか、表面には市名の由来や、市章、面積、人口等を紹介



一口メモ

観光課		課長	新川　学	
当日	連絡先	鍬形	内線	283
		73-3111		
前日	連絡先	73-3111	内線	283

【報道資料趣旨】
☐ 参加者等募集告知依頼
☐ イベント等の事前周知依頼
☐ イベント・会議等の取材依頼
☑ その他事業の取材依頼

人と、未来と、ほくと。

北斗市全景 イラストマップ

市章
平成18年2月1日、旧上磯町と旧大野町が合併し道内35番目の市として誕生。市章は北斗市の「北」と頭文字の「H」がモチーフ
面積 397.44km²
うち、耕地面積 10.7%
林野面積 75.3%
(面積・林野転積：2015年農林業センサス/農林水産省
耕地面積：H30年面積調査/農林水産省)
人口 46,080人
(R1.12.1 住民基本台帳)
市の花 春 サクラ
夏 マリーゴールド
秋 ムクゲ
市の木 クロマツ ブナ
市名の由来
「北斗」とは小さな星が集まり、あって一つの核をなすともいわれており、光輝かしい2つの星(町)が一つの北斗をつくり上げ、これからの立派なまちづくりを進めていこうという願いが込められています。
南北約31km
東西約21km
海沿線約21km
海の幸・山の幸
特産品
お米
ふっくりんこ
マルメロ
長芋 ※収穫量2位
ホッキ貝
ホッキ貝
ホッキ貝

ずーしーほっきーと

探してみるべや

おすすめのスポットや、
ぜひ知ってほしい北斗市の
歴史や文化をを紹介するよ！
紹介する内容のイラストを
表面の地図から探してみてね！

きじひき高原パノラマ展望台

標高560mのパノラマ展望台からは、函館山や津軽海峡、大沼、駒ケ岳など、雄大な景色を一望できる。展望台までの道の途中には車で走ると音楽が流れる「メロディロード」があり、北斗市ゆかりの曲が楽しめる。なお、展望台に向かう道は4月中頃から10月末まで通行可能。

何の曲が流れるかは、来てからのお楽しみホキ

新函館北斗駅（北斗市観光交流センター）

平成28年（2016年）3月26日に北海道の玄関口として誕生した新函館北斗駅。駅に併設している北斗市観光交流センターにはアンテナショップ「ほっとマルシェおがーる」があり、特産品などの魅力を発信している。また、隣接する別館「ショッピング＆フードエリア ほっくる」ではお土産品の購入や食事などを楽しむことができる。

二股口（ふたまたぐち）の戦い

箱館戦争（戊辰戦争）で、土方歳三隊（榎本軍約300名）と新政府軍約600名が大激戦の末、土方隊が数で勝る新政府軍を退けた。しかし、明治２年（1872年）４月の戦いにおいて矢不来台場の大鳥圭介隊（榎本軍約500名）が七重浜へと退却したため、土方隊も五稜郭へと撤退を余儀なくされた。

八郎沼公園

自然にあふれており、春になると公園内に桜が咲き、ゆっくりとお花見ができる桜の名所。桜以外にも水芭蕉やツツジ、スイレンといった四季折々の花を楽しむことができる。また、パークゴルフ場や体験農場なども隣接し、憩いの場として多くの人が訪れる。4月中旬から11月上旬まで開園。

法亀寺（ほうきじ）シダレ桜

北斗市を代表する桜の名所のひとつであり、樹齢およそ300年の北海道内でも最大級のシダレ桜。木の高さは約12メートルで、大きく広がった勇壮な枝ぶりと、垂れ下がった枝いっぱいに桜の花が咲き誇る。5月の桜の見頃の時期には近隣はもとより、遠方からも多くの人が花見に訪れる名スポット。

北海道水田発祥の地及び記念碑

地誌「松前志」の記録に基づき昭和24年（1949年）に建立。碑には“亀田郡大野村字文月押上（現北斗市村内）のこの地に、元禄五年（1692年）農民作右衛門なる者南部の野田村から移って、人々の定着は米にあるとして地を拓し、自然水により四百五十坪を開田し、産米十俵を収穫した。”と刻まれている。

北斗市指定文化財ホキ

北斗桜回廊

法亀寺シダレ桜をはじめ、国指定史跡松前藩戸切地陣屋跡の桜トンネルや大野川沿いの桜並木、清川千本桜をつなぐ道道96号沿いの桜のドライブコース。期間中（4月下旬～5月上旬）は、法亀寺、松前藩戸切地陣屋、大野川沿いの3会場にて、ライトアップが行われ、春の陽射しに映える桜とは一味違った幻想的な夜桜を楽しめる。

セメント工場と桟橋、峩朗（がろう）鉱山

東日本最大規模のセメント工場。峩朗鉱山から採掘された石灰石（セメントの主原料）はベルトコンベアで工場へ供給されている。製造されたセメントは海上桟橋を通じてセメント運搬船まで運ばれ、国内のみならず、海外へも届けられている。

日本一長い桟橋ホキ

道南いさりび鉄道

五稜郭駅から木古内駅を結ぶローカル線。JR江差線を引き継いでおり、地元の通勤・通学の足として欠かせない。ちなみに看板車両である「ながまれ号」の「ながまれ」とは道南地域の懐かしい方言で「ゆっくりして」「のんびりして」という意味。四季をイメージしたカラフルな車両にも乗ってのんびりした旅を過ごすのもオススメ。

ファーマーズマーケットあぐりへい屋

JA新はこだてが運営する、「見る・知る・選ぶ・味わう・伝える」をコンセプトとした地域密着の直売所。地元で採れた野菜等がその日のうちに届けられ、店内を彩る。また、フードコーナーでは地元産の農産物を使った、ここでしか味わうことができない道南の味覚を楽しむことができる。

葛登支（かっとし）岬灯台

茂辺地地区の葛登支岬に設置されている灯台。初点灯は明治１８年（1885年）で、道内では４番目、道南では最も古く、１００年以上にわたり津軽海峡を利用する船舶が安全に航行できるように点灯を続けてきた。また、灯台のレンズを回転させて点滅する仕組みは、全国でも唯一である。

フノリ礁

フノリ増殖用に設置されたコンクリート礁で干潮時にのみ現れる。茂辺地地区、当別地区合わせて約1,000基ある。摘み取る作業風景は他では見ることが出来ず、一見の価値あり。１～３月に手作業で摘み取ったフノリは、洗浄後乾燥させて「北斗海峡ふのり」という商品名で販売されている。

貝鮮焼北斗フィッシャリー

地元の貝を気軽に食べてもらいたいとオープンした、上磯郡漁業協同組合の直営店。ずーしーほっきーの由来になっている「ホッキ貝」をはじめ、北斗市産「峩朗（がろう）カキ」、「ホタテ貝」などを店内で蒸し焼きにして食べることができる。

上磯奴

江戸時代の参勤交代が原型といわれ北斗市指定無形民俗文化財である。衣装は半纏（はんてん）、手甲、脚絆、黒足袋、腰巾着、化粧前掛けを身につけ、草鞋を履き、腰に奴刀を差す。3m超す長柄の他に七つ道具を配し総勢30余名、約100mにも及び重厚かつ豪華絢爛な行列。

厳律シトー会 燈台（とうだい）の聖母トラピスト修道院

明治29年（1896年）に創立した日本で最初の厳律シトー会トラピスト修道院。修道院内では修道士たちが自給自足の生活を送っている。院内で作られているトラピストバターを使用したクッキーやソフトクリーム、またバター飴も人気。

茂辺地・石別地区もたくさんあるホキ

三木露風の詩碑

地元の有志などにより昭和46年（1971年）に建立。三木露風は大正9年（1920年）から4年間、トラピスト修道院の文学講師を務めた。代表作「赤とんぼ」の詩は大正10年（1921年）にトラピスト修道院近くの自宅の窓から「竿先に止まっている赤とんぼ」を見た際に、こみ上げてきた幼い頃の情景を書いたものである。

北斗市宣伝隊長
ずーしーほっきー

北斗市の特産品である「ホッキ貝」とブランド米「ふっくりんこ」を使った「ホッキ寿司」をモチーフにしたキャラクター
観光名所、特産品等の「北斗市のいいところ」を全国に発信していきます！

表面のイラストマップには7体のずーしーほっきーがいるよ！

HOKUTO

北斗市役所
〒049-0192 北海道北斗市中央1丁目3-10
TEL.0138-73-3111（代表）

一般社団法人 北斗市観光協会
〒041-1242 北海道北斗市市渡1丁目1-7
TEL.0138-77-5011

北斗市観光案内所
〒041-1242 北海道北斗市市渡1丁目1-1
TEL.0138-84-1147

北斗市役所ホームページ

北斗市観光協会ホームページ

2020年2月制作